

*医学専攻博士課程の履修モデル

独立した医学研究者を目指す学生は、志望部門（主科目1）と、志望部門と異なる医学群に属する部門であって研究テーマや研究対象が密接に関連する部門（主科目2；たとえば、志望部門が基礎医学群ならば臨床医学群に属する部門）、さらには志望部門と同じ領域の別の部門（副科目）の履修を通じて、専門領域の知識や実験手技、研究の立案・遂行に関して素養を深め、選択科目で関連する医学の広い裾野を学び、特別研究で実際の研究を体験することにより、豊かで幅広い学識及び高度な研究能力、さらには課題発見・解決力を身につける。

科目区分		授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	単位
主科目	主科目1	統合生理学特論	○				8
		統合生理学演習	○				4
	主科目2	運動器医学特論	○				4
		運動器医学演習	○				4
副科目	副科目	神経内科学特論		○			2
		神経内科学演習		○			2
選択科目	選択科目	医療倫理学	○				1
		実験医学研究基盤Ⅱ	○				1
		生活習慣病の病態Ⅱ	○				1
		生活習慣病への介入		○			1
		脳機能解析学		○			1
		地域医療への取り組み		○			1
合計							30

*医学専攻博士課程の履修モデル；医学専攻の特論と演習は通年で履修する。選択科目は、e-learningによる履修で前期・後期に縛られることなく半期で自由に履修することができる。

※医学専攻では、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、**査読付きの学術雑誌に掲載された博士論文の審査および試験に合格すること**が学位取得要件です。博士論文の研究自体には単位が認定されません。

医学専攻博士課程（腫瘍専門医コース）の履修モデル

本コースにおいては、最先端のがん医療に携わり、新たな知見を創出する、腫瘍専門医の養成を行います。がんの発生、進展、治療に対する反応に関わる機構について、基礎医学的な面からの深い理解を得るとともに、手術療法、化学療法、放射線療法、免疫療法など、がん治療における幅広い知識を得ることを目指します。また、緩和ケアなどについても、造詣を深めます。その中で、問題点を抽出し、解決への道筋をつけていく、リサーチマインドを養います。専門分野での基礎・臨床研究により学位論文を作成するのに加えて、専門分野以外の科における診療にも従事し、日本臨床腫瘍学会等の専門医の取得も目指していきます。

科目区分	授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	単位
系統講義コース科目	臨床腫瘍学総論	○				2
	薬物治療学特論	○				2
	器官病理学特論	○				2
	外科腫瘍学特論	○				2
トレーニングコース科目	化学療法トレーニング		○			6
	放射線治療トレーニング		○			6
	緩和ケアトレーニング		○			6
	特別研究	○	○	○	○	10
アドバンスドコース科目	交流セミナー			○		2
合計						38

医学専攻博士課程（革新的未来医療創造コース）で養成する人材像に応じた履修モデル

< 創薬・医療機器関連分野での医学系研究者の履修モデル >

本コースでは、医療現場における課題に対し、既成概念にとらわれない柔軟な発想によって新しい医療機器等を開発するためのリサーチマインドを育む。講義科目では、「発明薬」により新しい発想を持ち、未来の医療を創造することを目指す。また「出口戦略講義」では、アイデアから製品になるまでの道筋について学ぶ。さらに「やる気の心理学」により、人に役立つ喜びを感じながら医療や研究に取り組む姿勢について学ぶ。演習科目では、実際にシミュレーターロボット等の医療機器開発を体験し、異分野の人と協働しながら円滑に開発を進めることができる姿勢を身につける。さらに特別研究では、研究成果を論文にまとめることを通じて、世界の医療の発展に貢献できることを目指す。

(1) 医学部・薬学部・歯学部からの入学者

科目区分	授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	単位
講義科目	革新的未来医療創造特論	○				2
	臨床研究安全倫理特論	○				2
	知財戦略講義	○				2
	企業開発等技術者講義		○			2
	(7つの教育コースの科目)	○				4
演習科目	発明薬実践演習	○				2
	革新的未来医療創造演習	○				2
	特許作成演習		○			2
	低侵襲外科センターメディカルイノベーション演習・Ⅰ		○			2
	医療機器製品化体験演習・Ⅰ	○				2
	医療機器製品化体験演習・Ⅱ		○			2
アドバンスト コース科目	グローバルイノベーション実践・Ⅰ				○	1
特別研究	特別研究				○	5
合計						30

(2) 医学部・薬学部・歯学部以外からの入学者

科目区分	授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	単位
講義科目	革新的未来医療創造特論	○				2
	臨床研究安全倫理特論	○				2
	知財戦略講義	○				2
	企業開発等技術者講義		○			2
	基礎医学概論	○				2
演習科目	発明案実践演習	○				2
	革新的未来医療創造演習	○				2
	特許作成演習		○			2
	医療機器製品化体験演習・Ⅰ	○				2
	医療機器製品化体験演習・Ⅱ		○			2
	臨床医学演習	○				2
アドバンスト コース科目	グローバルイノベーション実践・Ⅰ				○	1
	革新的医療創造実践			○		2
特別研究	特別研究				○	5
合計						30

医学専攻博士課程（障害児医療学コース）の履修モデル

障害児医療学を学ぶ学生は、重症児の原因疾患の基礎的知識や小児の発生・発達、在宅医療の基礎的知識、医療コミュニケーションなどの幅広い講義（講義科目）と、在宅人工換気や小児神経学の実習（演習・実習科目）を通して、障害児医療の日本のリーダーを養成します。また、連携大学（大阪市立大学と秋田大学は代謝学特論、山形大学は脳形成異常特論）の教員から先端医療を学びます。さらにコミュニケーション特論および地域支援ネットワーク会議に参加し、他職種・他機関と連携する

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次	単位
*講義科目	小児在宅医学特論基礎I, II	○				4
	小児在宅医学特論応用	○				2
	代謝学特論	○				1
	脳形成異常特論	○				1
	コミュニケーション特論	○				1
	小児神経学特論		○			4
演習科目	実践的小児神経学演習		○			1
	小児神経学トレーニング		○			4
	発生・発達解析演習		○			4
実習科目	在宅人工換気実習			○		1
特別研究	特別研究	○	○	○	○	10
合計						33

*講義科目；講義科目は、e-learningと講義・実技を織り交ぜて履修しやすいようにしている。